

令和4年度  
教職課程  
自己点検評価報告書

北翔大学  
北翔大学短期大学部

令和5年3月

○北翔大学 教職課程認定研究科・学部・学科一覧

- ・生涯学習学研究科(修士課程)
- ・生涯スポーツ学研究科(修士課程)
- ・生涯スポーツ学部(スポーツ教育学科)
- ・教育文化学部(教育学科・芸術学科)
- ・短期大学部(こども学科)

○大学としての全体評価

各研究科及び各学科の自己点検評価は基準領域・基準項目のすべてについて詳細に行われていることから、それらを総合的にとらえて全体評価を行った。したがって、本全体評価は全基準領域・基準項目について行っているものとなっている。

- ① 本学教職課程においては、各研究科及び各学科の目的・目標を教師像とともに本学ホームページで広く周知している。

教職員においては、本学ホームページ及び各学科の教職センター運営委員による周知により、共通理解している。

学生に対しては、「教職課程を実施している方針及び学位授与の方針を理解した上での学修が必要である」ことを各研究科及び各学科で確実に指導し、それを実現している。

各科目においては、厳格な評価基準としての到達目標を示し、本学教職課程の質を担保している。また、これら科目は、最新の情報や社会情勢をとらえた内容での実施展開も実現している。

これらのことは、免許状を取得する学生が十分な学修内容に裏打ちされた高い資質と能力を身に付けて教職に就けることに直結しており、教員採用検査（採用試験）の合格率の高さにつながっている。

- ② 上記①に記載した各研究科及び各学科の目的・目標は、教職課程に係る全教員が適切な時期にすべての内容を確認し共通理解に立つことができるものとして整えている。また、それを補完する諸環境及び周知体制も併せて整備している。

各研究科及び各学科においては、各教員が適切なタイミングで相互に目的・目標等の確認を行いながら授業を展開している。これらは教職課程にある「学生の形成的な自己評価を正しく指導する」ことに繋がっている。

- ③ 教職課程の運営においては、全学組織（教職センター）を通して教職課程担当教員及び教職センター事務職員の適切な役割分担を行い、確実な取組としている。

本体制及び確実な取組によって、本学の教職課程が学生の育成に確実かつ十分な成果をもたらし続けている。

④ 教職課程を広く公開し共通理解しながら実施している本学の体制は、教職課程教育を行う上での施設・設備の十分な整備をも実現している。このことは、いずれの科目展開においても、学修内容の習得に向けた環境の適切な活用をより確実なものとしている。

⑤ 上記①～④を基盤としていることで、教職を目指す学生個々の状況を各教員が詳細に把握できる状況を実現している。

即ち、このことが、学生個々に対する形式的でかつ十分な指導を可能とし、教職に対する学生の意欲を常に喚起し、高めているのである。

また、教職課程が適切かつ十分なものとしてあり、本学学生の望ましい状況が実現できているからこそ、学生のニーズや適性の把握に基づいた望ましいキャリアの実現にもつながっている。

※①～⑤詳細については、各研究科及び各学科で作成した自己点検評価(別添)の中に記載している。

今後も建学の精神を具現化する特色ある教職課程教育を展開していく。

北翔大学

北翔大学短期大学部

学長 山 谷 敬三郎